

田水郷通信

◆ Topics

- 現場の“知恵と工夫”共有「技術研修会」
- 「田」「水」「郷」繋ぐ取組紹介「田水郷パネル展」
- 田水郷コラムおらほの農業「種まき」
- 強靱な農業・農村の実現に向けて「農村防災対策室」新設



現場の“知恵と工夫”共有「技術研修会」

既存の概念，技術に囚われない新工法や創意工夫等について情報を共有し，職員の技術力向上を図ることを目的として，令和3年度農業農村整備「技術研修会」を開催しました。

令和4年2月7日(月)より，録画視聴形式で各所属から8課題が発表され，特別審査員及び各所属に割り当てられた審査員からの投票により「最優秀賞」1課題，「優秀賞」2課題を決定しました。

「構造物工事」「ため池管理」「NN事業を通じた農村振興」等，農業農村整備事業を代表する事例から，現場視点の実用的なアイデアが多く発表されました。

最優秀賞を獲得した課題「柴田町槻木地域の農地整備事業等を通じた農村振興について」では，排水解析を用いて地区全体の課題が整理され，農業農村整備事業による排水対策は単なる生産現場の強化にとどまらず，地域のさらなる発展に繋げることが重要との観点から，優先順位が付された対応策が示されるなど，具体的でありながら誰にでも農業農村整備事業の役割と大切さが分かる内容となっていました。

受賞された方々，誠におめでとうございます。



最優秀賞 渡邊技術主幹



優秀賞 遠藤技師



優秀賞 上村技師

本地域の排水対策は農業振興に留まらず，まちづくりの視点からも非常に重要

農地整備をはじめとした農業農村整備事業による排水対策に対し，大きな期待が寄せられている

事業名	地区名	工期
機耕開通	嵐城	H30～R5
競争力強化	嵐上	R3～R11
〃	大野田	R4～R12
〃	船泊	R5新規予定
〃	成田	R6新規予定

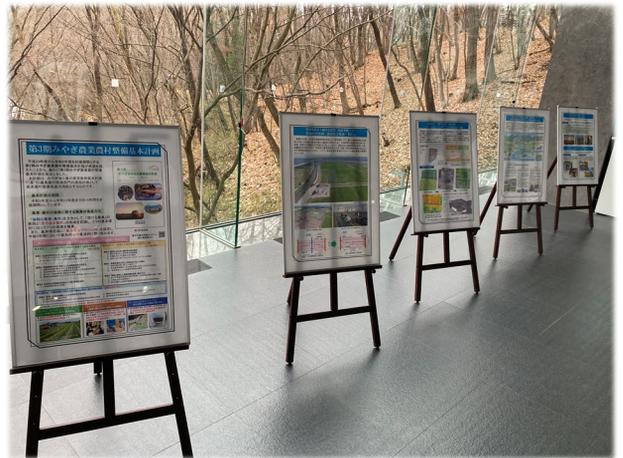
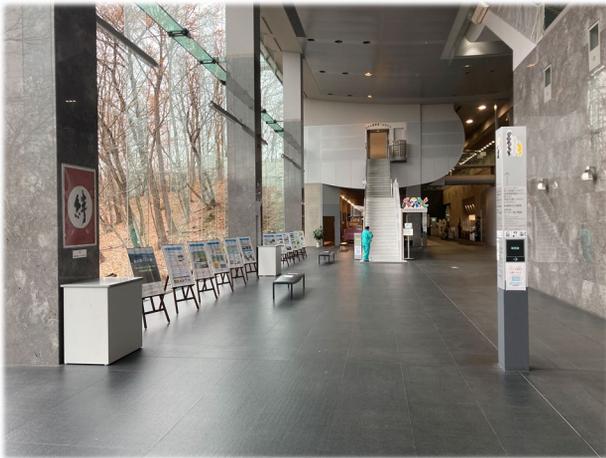
最優秀賞課題 発表スライドの一部

番号	課 題 名	審査結果
1	防災重点ため池の維持管理省力化に向けた遠隔監視システムの試行 発表者：北部地方振興事務所農業農村整備部農村振興班 技師 遠藤 武聡	優秀賞
2	初期型ほ場再整備古宿地区における基本計画検討事例について 発表者：東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部農地整備第二班 技師 堀 隼人	努力賞
3	令和元年東日本台風における排水機場の浸水対策について 発表者：仙台地方振興事務所農業農村整備部農地整備第一班 技師 秋山 優也	努力賞
4	吸水槽工事における被圧地下水対策の施工例について 発表者：北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部農地整備第三班 技師 上村 亮介	優秀賞
5	工事現場で幼稚園児を対象としたイベント開催！その舞台裏で・・・ 発表者：東部地方振興事務所農業農村整備部 水利施設保全班 技師 田代 大悟	努力賞
6	王城寺原演習場周辺の既設溜池における獣害の現状と対応策について 発表者：王城寺原補償工事事務所工務班 技師 遊佐 浩一郎	努力賞
7	農業農村整備事業におけるUAVの活用について 発表者：気仙沼地方振興事務所農業農村整備部農地整備第二班 技師 成田 涼	努力賞
8	柴田町槻木地域の農地整備事業等を通じた農村振興について 発表者：大河原地方振興事務所農業農村整備部計画調整班 技術主幹(班長) 渡邊 真	最優秀賞

「田」「水」「郷」繋ぐ取組紹介 「田水郷パネル展」^{たすき}

令和3年12月7日（火）から17日（金）に宮城県図書館エントランスにおいて、令和4年1月17日（月）から21日（金）に県庁2階回廊において「田水郷パネル展」を開催しました。

本展示では、みやぎの農業農村の宝である優良な生産基盤（田）、生産に欠かせない農業用水（水）、美しい景観や伝統・文化（郷）をより一層活用し、次代に継承するべく展開している「第3期みやぎ農業農村整備基本計画」の各施策等について、事例を交えながら紹介しました。



宮城県図書館エントランス 展示状況



県庁2F回廊 展示状況



優良な生産基盤（田）、生産に欠かせない農業用水（水）、美しい景観や伝統・文化（郷）は、みやぎの農業農村の宝です。本展示では、これら田・水・郷をより一層活用し、次代に継承するべく展開している「第3期みやぎ農業農村整備基本計画」の各施策等について、事例を交えながら紹介しました。

主 催：宮城県農政部長官事務官課
TEL：022-211-2863



展示パネルの内容は、農村振興課ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tasukipaneru.html>



おらほの農業「種まき」



暖かい日が続くようになり、もうすぐ本格的な稲作シーズンの到来です。

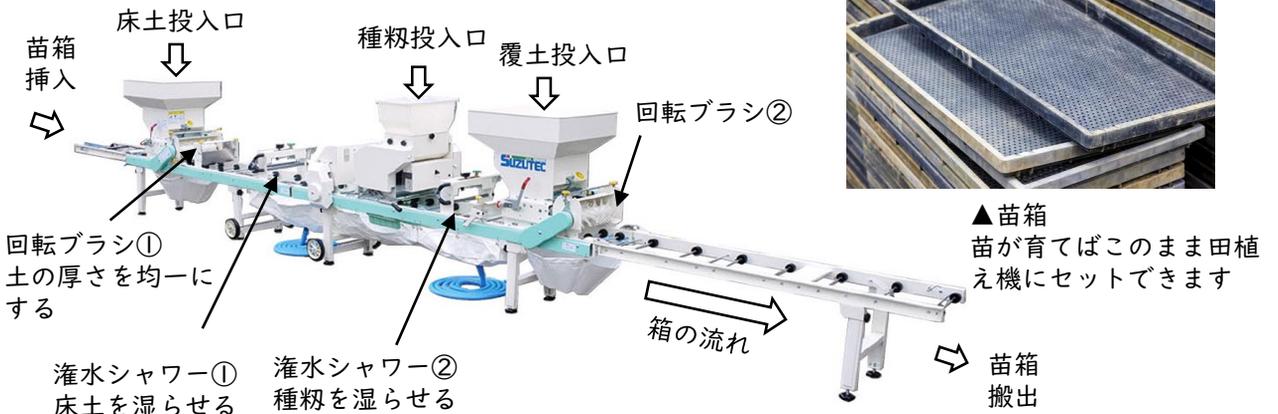
この時期の作業のひとつに「種まき」がありますが、田植えや稲刈りに比べて一般にあまり知られていないのでは？との思いから、今回、筆者の地元の農業法人による「ベルトコンベア式播種機（はしゅき）」を利用した種まきの流れをご紹介します。

◆種まきとは

苗箱（なえばこ）と呼ばれるプラスチック製の箱に、稲の種である種籾（たねもみ）を播き、それをビニールハウスに並べる一連の作業です。これが成長することで苗となり、田植えができるようになります。

◆ベルトコンベア式播種機

各投入口に材料を入れ、箱をセットするだけで、種まきが完了した苗箱が自動で次々と製造される優れモノです。

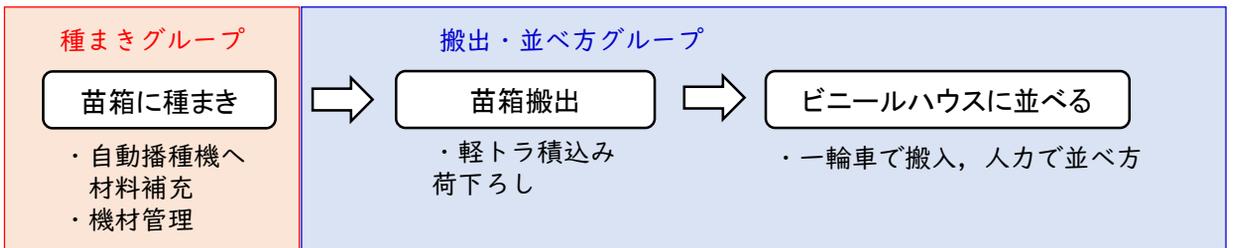


▲播種機イメージ図

土→水→種籾→水→土の順で材料が箱に落ちます

◆作業工程

種まきグループと、ビニールハウスへの搬出・並べ方グループに分かれて作業します。



◆作業の流れ



▲実際の播種機と種まきグループ。次々と苗箱が完成します。

▲ここからは搬出・積み込みグループ。完成した苗箱を軽トラに積み込みます。



▲軽トラから一輪車に積み替えてビニールハウス内に運び込みます。疲れてくると一輪車ごと苗箱をひっくり返す事故が4~5件発生します。



▲一輪車から降ろして並べていきます。種まきの中で一番しんどい作業です。



▲並べ終わったらシートを被せて保温します。



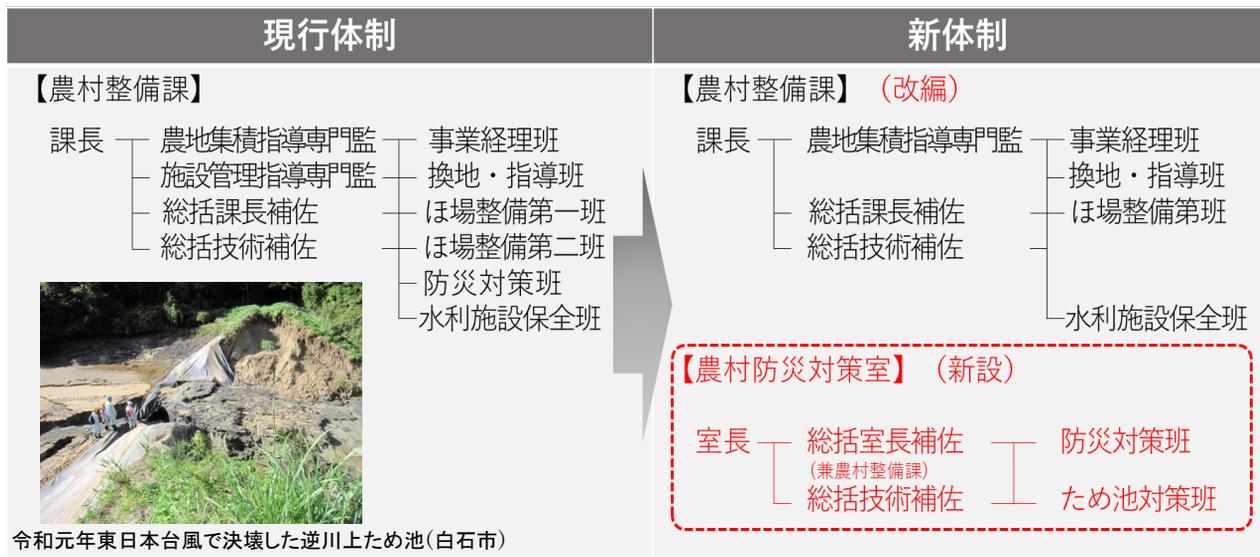
種まきは重労働ですが、お米のありがたみを肌で感じることで、おいしさが各段にアップします。地元農家の骨身を惜しまぬ努力に感謝です。

強靱な農業・農村の実現に向けて 「農村防災対策室」新設

近年、全国的に豪雨災害が頻発化・激甚化し、本県でも平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風などで甚大な被害が発生しています。

これらのような災害に対し、平時から農地及び農業用施設の防災減災対策を行うほか、災害発生時の災害復旧及び市町村支援を一体的に行うため、農村整備課を再編し「農村防災対策室」が新設されることとなりました。

このことにより、令和4年度から県庁農業農村整備部門は「農山漁村なりわい課」「農村振興課」「農村整備課」「農村防災対策室」の3課1室体制となります。



～宮城県農業農村整備関係部所一覧～

<p>県庁農政部 農山漁村なりわい課 022-211-2657 農山漁村調整班, 交流推進班 中山間振興班, 6次産業化支援班 農村振興課 022-211-2861 指導班, 企画調整班, 地域計画班, 技術管理班, 広域水利調整班, 農村整備課 022-211-2871 事業経理班, 換地・用地班, ほ場整備第一班 ほ場整備第二班, 防災対策班, 水利施設保全班</p>	<p>県出先機関 大河原地方振興事務所 農業農村整備部 0224-53-3111 仙台地方振興事務所 農業農村整備部 022-275-9111 北部地方振興事務所 農業農村整備部 0229-91-0701 北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部 0228-22-2111 東部地方振興事務所 農業農村整備部 0225-95-1411 東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部 0220-22-6111 気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部 0226-24-2121 王城寺原補償工事事務所 022-345-5175</p>
--	--

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/